



ロケ協力作品
せんだい・宮城
フィルムコミッション

映画「ママレード・ボーイ」 仙台・宮城ロケの舞台裏

本気の恋は
甘いだけじゃない



桜井日奈子 吉沢亮
佐藤大樹 優希美青 藤原季節 遠藤新菜 竹財輝之助 / 寺脇康文
(STYLE: FANTASTICS)
筒井道隆 谷原章介 檀 れい 中山美穂

marmaladeboy.jp

@marmalade_movie ママレードボーイ

原作:吉住 渉「ママレード・ボーイ」(集英社文庫(コミック版))
監督:廣木隆一 脚本:浅野妙子 廣木隆一 音楽:世武裕子
主題歌:GReeeeN「恋」(ユニバーサル ミュージック)

4.27 [Fri.]

両親たちがパートナーチェンジ!? ありえない同居生活はドキドキがいっぱい



2017年11月下旬～12月上旬にかけて、宮城県内で一部撮影が行われました。

詳しくは裏面をチェック! ▶

©吉住渉/集英社 ©2018映画「ママレード・ボーイ」製作委員会

映画「ママレード・ボーイ」 高校・部活動でのあの名シーンは 仙台・宮城で撮影！

原作ファンも
ときめく



高校生活のシーン

光希：「学校にいる間は、あの異常な家族と離れられるんだもん」
銀太：「お前らの両親、ぶっ飛んでんな」



遊：「光希・・・」



名村先生：「心配しなくて大丈夫だから、僕がなんとかする」

光希(桜井日奈子)、遊(吉沢亮)、銀太(佐藤大樹)、茗子(優希美青)が通う桐稜高校。遊からの不意打ちのキス、親友の茗子のある事件など、日々思いがけない出来事が起こる光希の高校生活のシーンは学校法人尚絅学院にて撮影。シーンによって中学・高校の校舎、大学キャンパスが使い分けられています。授業シーンでは実際に尚絅学院の先生が授業を行いました！

ロケの裏話 オープニングシーンはエキストラ200名！

光希(桜井日奈子)と茗子(優希美青)が下校する放課後のシーンは、中庭や廊下、エントランスを行き交う生徒役、様々な部活動の部員役で早朝から約200名のエキストラが参加！劇中では日差し強い夏の設定ですが撮影は11月末、気温1ケタの中、エキストラさんは夏服で撮影に臨みました！



テニス部のシーン

光希(桜井日奈子)と銀太(佐藤大樹)が所属する桐稜高校テニス部。部活動や他校との練習試合のシーンは仙台大学テニスコートでロケを実施！仙台大学硬式テニス部の皆さんにテニス部員役やキャストのテニスプレーのお手本(スタンドイン)として撮影に協力いただきました。

光希：「銀太何やってんの！いつもみたいにカッコよくスマッシュ決めてよ!!!」



ロケの裏話



当初、仙台大学のロケは3日間の予定でしたが、天候が安定せず1日延びて4日に…。冬の屋外ロケ、待ち時間も多く寒い中、早朝から夕暮れまで、テニス部員や応援の生徒役で多くのエキストラさんが銀太(佐藤大樹)と遊(吉沢亮)に声援を送りました。仙台ロケのクランクアップは仙台大学テニスコートで迎え、カットと同時に参加者から拍手が沸き起こりました！

放課後シーン

亜梨実：「私の中ではまだ終わっていない。だから邪魔しないで。」



光希(桜井日奈子)と茗子(優希美青)が学校帰りにお茶をしにカフェに立ち寄ると、遊(吉沢亮)の元カノ・亜梨実(遠藤新菜)がやってきて…。カフェのシーンは泉中央駅前・セルバテラス内のエルカジェーロ パー&タバスにて開店前に撮影！

その他、映画「ママレード・ボーイ」をより楽しめる仙台・宮城ロケの舞台裏は
せんだい・宮城フィルムコミッション 映画「ママレード・ボーイ」特集ページへ！



せんだい・宮城
フィルムコミッション

©吉住渉・集英社 ©2018映画「ママレード・ボーイ」製作委員会